



CLEAN AIR FOR CHILDREN



<https://www.blueair.jp/>

こどもの
空
研究所



CLEAN AIR FOR CHILDREN



室内の空気環境を考えるのも、子育ての一部です

屋外の空気はみんなの協力、室内空気は1人の意識。
1日の大半を室内で過ごす“こども”の空気環境に
真剣に向き合いませんか。

こどもの 空気 研究所



こどもの空気研究所とは？



<https://cafc.blueair.jp>

こどもの空気環境について考える

こどもの空気研究所とは、空気清浄機専門メーカー「Blueair」のCSR活動である「Clean air for children」の一環としてこどもの室内空気環境を考え、改善するための研究組織です。こどもが汚染物質の多い空気環境で長く生活すると、気管支ぜんそくやアレルギー性皮膚炎などのアトピー性疾患の原因にもなりえると言

われており、対応が必要となる重大な課題です。⁽¹⁾人は90%の時間を室内で過ごす⁽²⁾と推計されています。「こどもの空気研究所」は1日の大半を室内で過ごすこどもの未来を守るため、室内空気環境についての理解を深めるきっかけと、空気環境改善の大切さをお伝えし、きれいな空気を提供するための活動を行ってまいります。

人間の生命活動において、最も多く体内に取り込まれるものは空気であり、特に小さなこどもは大人の2倍近くの汚染物質を吸収します。⁽³⁾そのため、こどもの小さな体にとって周囲を取り巻く空気環境は非常に重要です。屋外での空気汚染対策はもちろんですが、

近年、室内で過ごすことが多くなった現代生活の中で新たに「室内空気汚染」といった問題も取り沙汰されています。住宅の高気密化により、花粉やPM2.5など室外から流入する汚染物質だけでなく、住宅の建材や家庭製品の材料に含まれる化学物質が滞留しやすくなったことが原因として考えられています。⁽⁴⁾

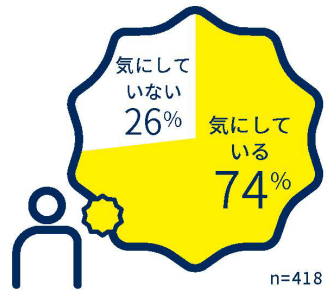
¹: アメリカ合衆国環境保護庁/室内環境レポートより ²: 厚生労働省ホームページ (<https://www.mhlw.go.jp/content/000511242.pdf>)

³: 東京都福祉保健局/化学物質の子供ガイドライン「室内空気編」より ⁴: 厚生労働省ホームページ (https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/seikatsuseisei/sick_house.html)

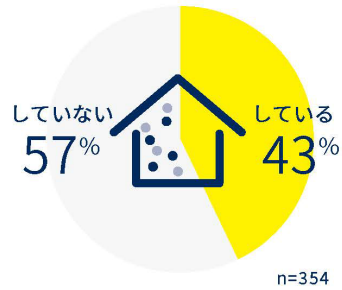
CLEAN AIR FOR CHILDREN 意識していても、実態を知らない室内空気汚染

室内空気に関する意識調査^(*)では、約7割の方が室内空気環境を意識しているものの、実際に自宅に対策を行っていたのは約4割の方にとどまりました。

普段、空気環境を気にしていますか？



自宅の空気環境の対策をしていますか？



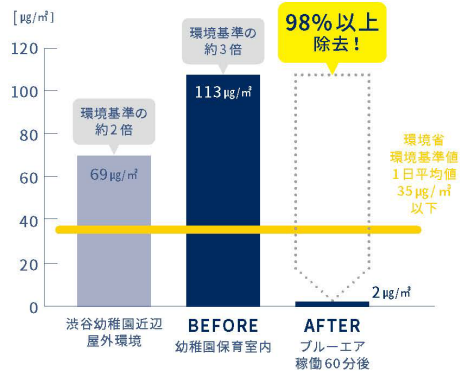
意識されにくい園内空気環境

子どもが長く滞在する場所のひとつに、幼稚園や保育園といった保育施設があります。しかし、保育施設の園内空気環境は、これまでなかなか意識されることはありませんでした。

渋谷区にある「渋谷幼稚園」は、かねてより室内の空気環境について懸念されており、対策として、全保育室と大ホールにブルーエア空気清浄機を導入していただくことになりました。

導入前に空気環境の実態を知るためPM2.5の濃度を計測したところ、幼稚園近辺の「屋外」空気からは、環境省が定める環境基準値の約2倍、そして子どもたちが普段過ごしている「保育室内」からは約3倍ものPM2.5が計測されました。

PM2.5濃度計測



しかし、ブルーエアを60分稼働することで、保育室中の98%以上のPM2.5を除去する結果となり、環境基準値を大きく下回るきれいな空気環境を子どもたちに提供することができるようになりました。^(*)

これまでのブルーエアの支援先



長野県立こども病院

2019年6月

寄贈台数：4台 支援したお子様の数：180床



学校法人 渋谷教育学園 渋谷幼稚園

2019年11月

寄贈台数：8台 支援したお子様の数：160人



渋谷区立保育園・幼保一元化施設

2019年12月

寄贈台数：100台 支援したお子様の数：1889人(20園)



全国学童保育・放課後クラブ

2020年3月

貸与台数：100台



立教女学院小学校

2020年6月

寄贈台数：13台 支援したお子様の数：432人



*5：「室内空気に関する意識調査」/2019年9月「セールス・オンデマンド」調べ

*6：「学校法人 渋谷教育学園 渋谷幼稚園における空気質改善の実証実験」/セールス・オンデマンド「調べ」(2019年11月実施)



お部屋の空気をきれいに保つための

3つの指差し確認

屋内の空気は屋外に比べて

約5倍以上汚れているというデータがあります。

だからこそ、毎日の空気対策を続けることが重要です。

溜まったホコリが風邪をひく要因になることもあります。

こまめに掃除をすることもきれいな空気を保つために大切です。



換気をしよう。

換気の頻度の目安は1時間に5～10分程度。

窓を開けて空気を入れ替えよう。



お掃除しよう。

隅っこにほこりは溜まってないかな??

掃除機で吸ったり水拭きしよう。



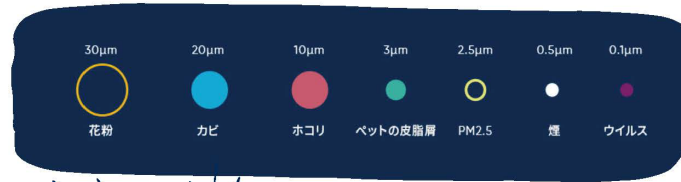
空気清浄機をスイッチオン!

空気清浄機は24時間付けておこう。

目に見えない空気中の汚れも怖くない。



空気清浄機専門メーカーならではの高い空気清浄技術



高性能フィルターと独自技術で、花粉やホコリはもちろん、0.1μm以上のウイルスレベルの有害物質までハイスピードで99.97%除去^(*)します。

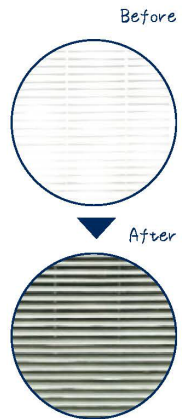


シンプルな美しさを追求した北欧デザイン

北欧を代表するデザイン賞「エクセレント・スウェーデン・デザイン賞」ほか主なデザイン賞を獲得しています。

フィルター清掃不要のお手軽メンテナンス

フィルターが汚れてしまうと空気清浄機の性能は著しく低下します。高い清浄性能を長く維持するためには、汚れたフィルターは定期的に交換すること。空気清浄機専門メーカーとしてブルーエアはそう考えます。約6か月に一度フィルター交換^(*)するだけでわざわざフィルター自体を清掃したり、汚いホコリに触れる必要はありません。交換のたびに初期性能に生まれ変わります。



試してびっくり! 空気が見えちゃうアプリ

ブルーエアの専用アプリでは、屋外空気の汚れ具合がいつでも簡単にチェックできます。さらに、センサー搭載のブルーエア空気清浄機と接続すれば、室内空気の状態を見ることも可能です。



^(*) : Camfil社による実証データ。実際の効果は、部屋の状況や使用方法により異なる。
^(**) : 24時間使用の場合の目安。